



定着状況ウォームアップ こんな活用をしています！

©県「ももっち・うらっちと仲間たち」

県調査の結果が返却され、分析と課題解決に向けた取組の検証が各校で行われている中、7月3日(月)から「定着状況ウォームアップ」が活用できるようになっています。7月7日(金)までの一週間で、すでに延べ800人以上の児童が取り組んでいます。

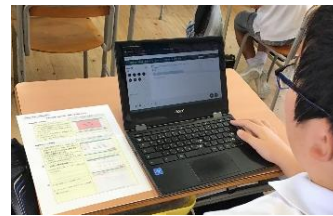
定着状況ウォームアップは、一層短いサイクルで一人ひとりの定着状況を把握・分析できるとともに、児童自ら学習を調整し、課題解決に向けて取り組むための学習基盤を構築することをねらいとしています。また、コンピューター上で児童が解答するため、情報活用能力の育成に資することができます。

どのような成果が期待でき、児童の反応はどのようなのかなど、これから活用するに当たって不安に思われている先生もいらっしゃるかと思います。そこで、津山市立西小学校での活用状況を紹介します。

実施校：津山市立西小学校
実施日：令和5年7月12日(水)
実施学年：第4学年(24名)
第5学年(38名)
第6学年(29名)



学級全体の様子



解答中の様子

Q：定着状況ウォームアップを活用することで、どのような成果を期待していますか？



授業改革推進リーダー
保田主幹教諭

本校の課題の一つが、四則演算の計算ミスや算数用語を正しく理解し、積み重ねていくことを苦手とする児童への指導です。ウォームアップでは、児童自身が自分の解答結果を即時に確認できるとともに、やり直しや解き直しをすぐに、できるまで何度も行うことがメリットだと思いました。学習の定着はもちろん、児童自身が自ら学習を調整する力を伸ばすことにつながることも期待しています。

Q：どのような流れで実施したのですか？

前日まで	学力向上担当と担任が問題を確認し、「実施マニュアル」を見ながらMEXCBTの配信準備、計算用メモの準備、解答方法説明プリントの印刷をしました。
当日の実施前	担任が開始前に、解答方法説明プリントで「問題の答え方」を説明し、パソコンを立ち上げておくようにしました。
実施中	解答方法説明プリントを手元に置いて進め、必要に応じて計算用メモを使うように指示しました。【実施時間：20分】
実施後	間違った問題を解き直すように指示しました。フォームで個人の振り返りを行い、全体で共有しました。今回と同じ問題を夏休み中と2学期初めに実施し、定着状況を把握する予定です。

活用した6年生児童の声



分数の割り算、やっぱり間違えちゃった。計算ミスを減らせるように、練習していきたいな。



14問中11問正解だったよ。正しい答えが表示され、すぐに解き直しをしたから、どこで間違ったか分かったよ。



正誤がすぐに分かるので、児童自身も自分の課題がつかみやすいんだね。1学期中に実施しておく、夏季休業中に児童自身が定着が十分でない内容を復習することができるね。また、算数は学習内容の積み上げが大切なので、上学年がつかまずき解消のために下学年の問題に取り組むことも効果的だね。